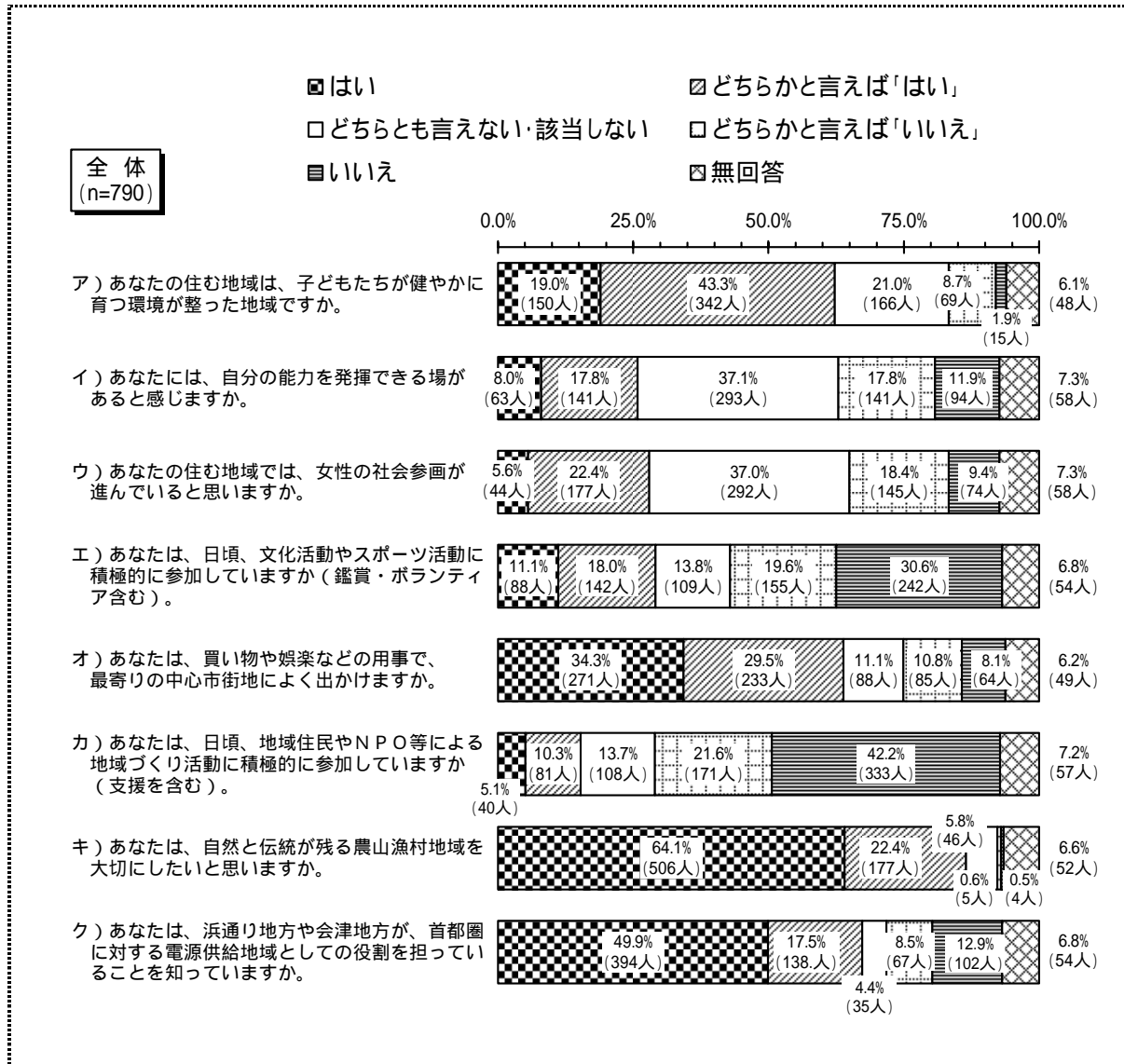


## 7 福島県総合計画について

問29 次のあげた ア)～ニ)の項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに をつけてください。

### (1) 人と地域が輝く「ふくしま」

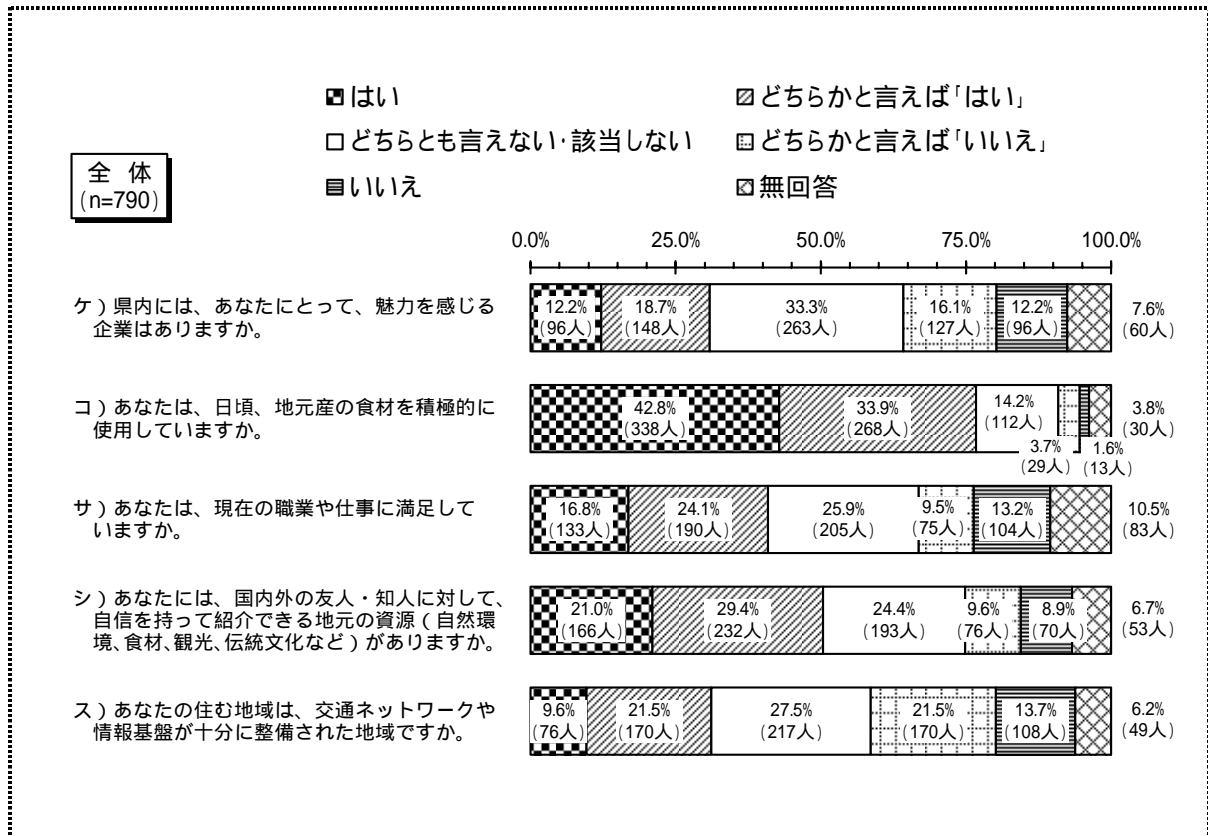


あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いますか（64.1%）に「はい」と回答した人が6割を超え、最も高い割合となっている。次いであなたは、浜通り地方や会津地方が、首都圏に対する電源供給地域としての役割を担っていることを知っていますか（49.9%）の割合が高く5割となっている。あなたは、買い物や娯楽などの用事で、最寄りの中心市街地によく出かけますか（34.3%）が3割強と、比較的割合が高いが、その他の項目は2割以下となっている。

「はい」と「どちらかと言えば“はい”」を合わせた『はい』計の割合をみると、あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いませんか（86.5%）が最も多く9割弱となっている。あなたは、浜通り地方や会津地方が、首都圏に対する電源供給地域としての役割を担っていることを知っていますか（67.3%）、あなたは、買い物や娯楽などの用事で、最寄りの中心市街地によく出かけますか（63.8%）、あなたの住む地域は、子どもたちが健やかに育つ環境が整った地域ですか（62.3%）が6割台となっている。

一方、「いいえ」と「どちらかと言えば“いいえ”」を合わせた『いいえ』計の割合は、あなたは、日頃、地域住民やNPO等による地域づくり活動に積極的に参加していますか（支援を含む）（63.8%）とあなたは、日頃、文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していますか（鑑賞・ボランティア含む）（50.3%）が5割を超え、高くなっている。

(2) いきいきとして活力に満ちた「ふくしま」

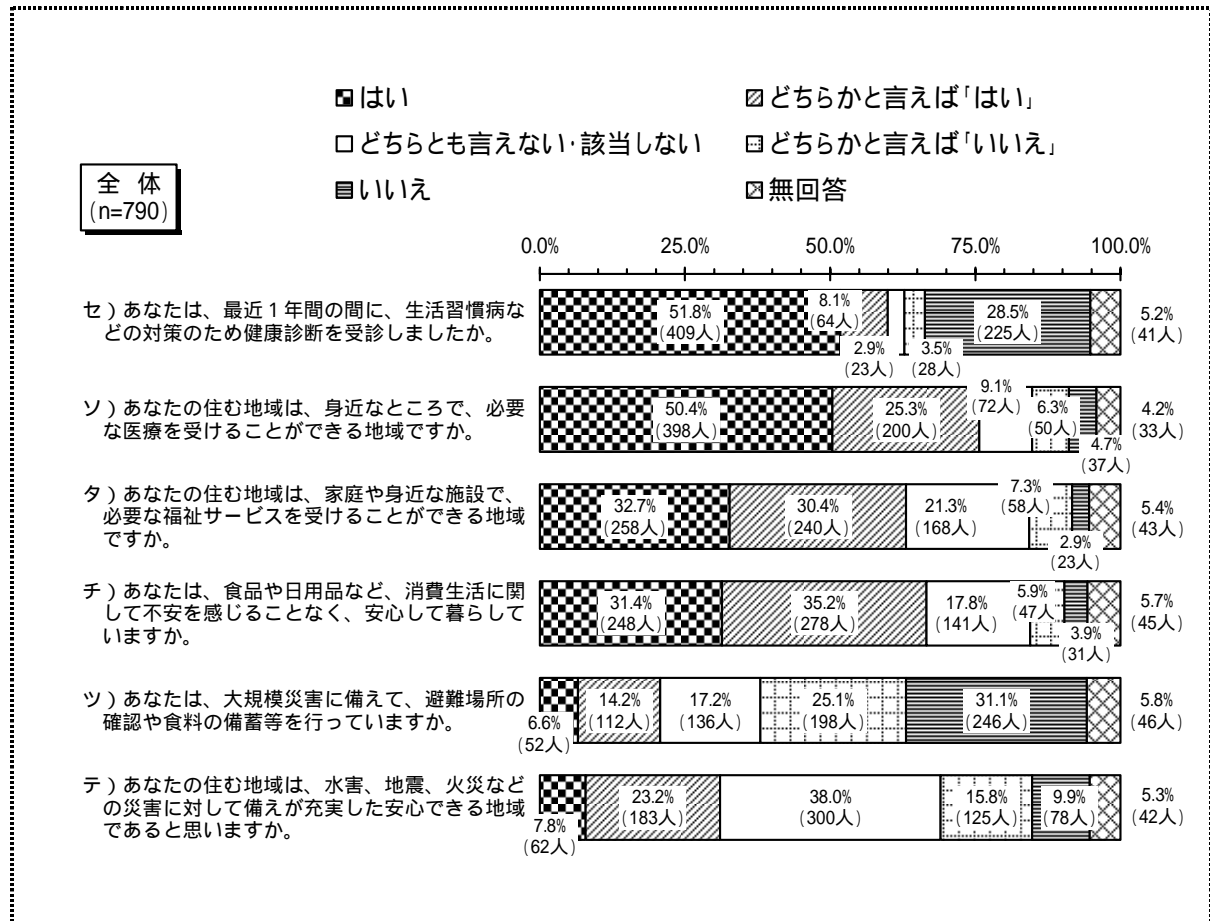


あなたは、日頃、地元産の食材を積極的に使用していますか に「はい」（42.8％）と回答した人が最も多く、4割を超えた。 あなたには、国内外の友人・知人に対して、自信を持って紹介できる地元の資源（自然環境、食材、観光、伝統文化など）がありますか（21.0％）が2割強、あなたは、現在の職業や仕事に満足していますか（16.8％）が2割弱となっている。

「はい」と「どちらかと言えば“はい”」を合わせた『はい』計の割合をみると、あなたは、日頃、地元産の食材を積極的に使用していますか（76.7％）が最も高く8割弱となっている。次いで、あなたには、国内外の友人・知人に対して、自信を持って紹介できる地元の資源（自然環境、食材、観光、伝統文化など）がありますか（50.4％）の割合が高く、5割となっている。

一方、「いいえ」と「どちらかと言えば“いいえ”」を合わせた『いいえ』計の割合は、あなたの住む地域は、交通ネットワークや情報基盤が十分に整備された地域ですか（35.2％）が3割で最も高い。県内には、あなたにとって、魅力を感じる企業はありますか（28.2％）が3割弱で続いている。あなたは、日頃、地元産の食材を積極的に使用していますか は5.3％とわずかである。

### (3) 安全と安心に支えられた「ふくしま」



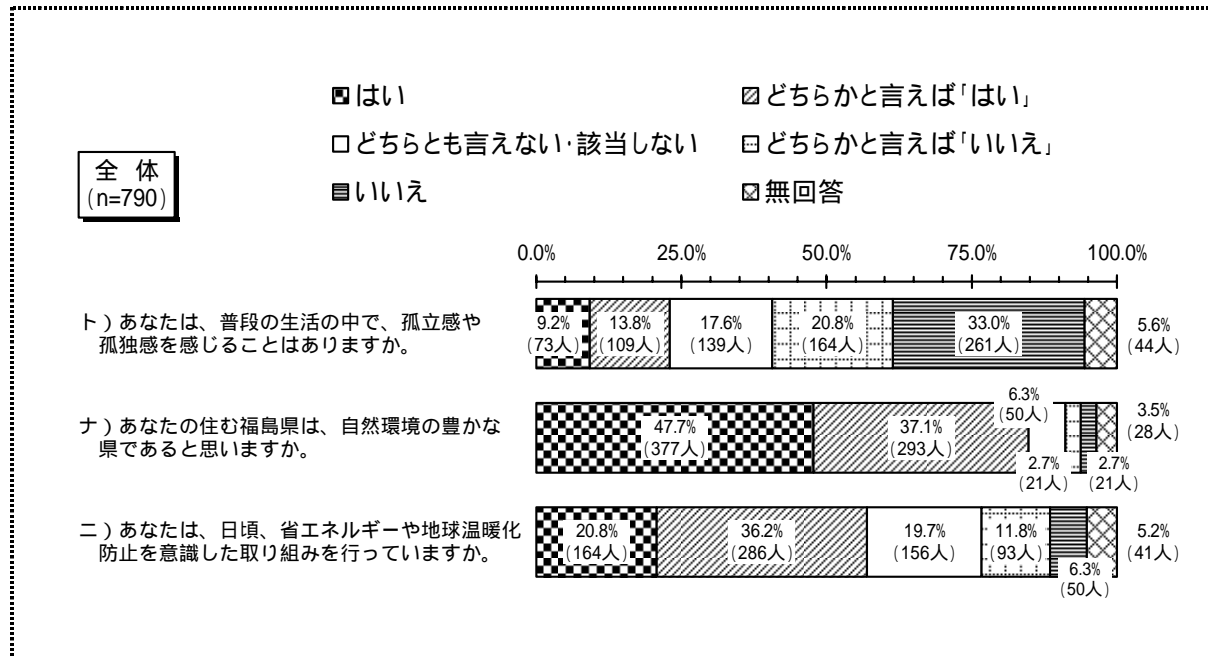
あなたは、最近1年間の間に、生活習慣病などの対策のため健康診断を受診しましたか に「はい」(51.8%)と回答した人が最も多く、5割強となっている。ほとんど差がなく、あなたの住む地域は、身近なところで、必要な医療を受けることができる地域ですか (50.4%)が5割、あなたの住む地域は、家庭や身近な施設で、必要な福祉サービスを受けることができる地域ですか (32.7%)とあなたは、食品や日用品など、消費生活に関して不安を感じるがことなく、安心して暮らしていますか (31.4%)3割強となっている。

「はい」と「どちらかと言えば“はい”」を合わせた『はい』計の割合をみると、あなたの住む地域は、身近なところで、必要な医療を受けることができる地域ですか (75.7%)が最も高く7割台となっている。

あなたは、大規模災害に備えて、避難場所の確認や食料の備蓄などを行っていますか (20.8%)とあなたの住む地域は、水害、地震、火災などの災害に対して備えが充実した安心できる地域であると思いますか (31.0%)は、他の項目に比べ割合が低くなっている。

一方、「いいえ」と「どちらかと言えば“いいえ”」を合わせた『いいえ』計の割合は、あなたは、大規模災害に備えて、避難場所の確認や食料の備蓄などを行っていますか (56.2%)が、6割弱と高くなっている。

#### (4) 人にも自然にも思いやりにあふれた「ふくしま」



あなたの住む福島県は、自然環境の豊かな県であると思いますか に「はい」(47.7%)と回答した人が最も多く、5割弱となっている。あなたは、日頃、省エネルギーや地球温暖化防止を意識した取り組みを行っていますか(20.8%)が2割、あなたは、普段の生活の中で、孤立感や孤独感を感じることはありますか(9.2%)は1割弱となっている。

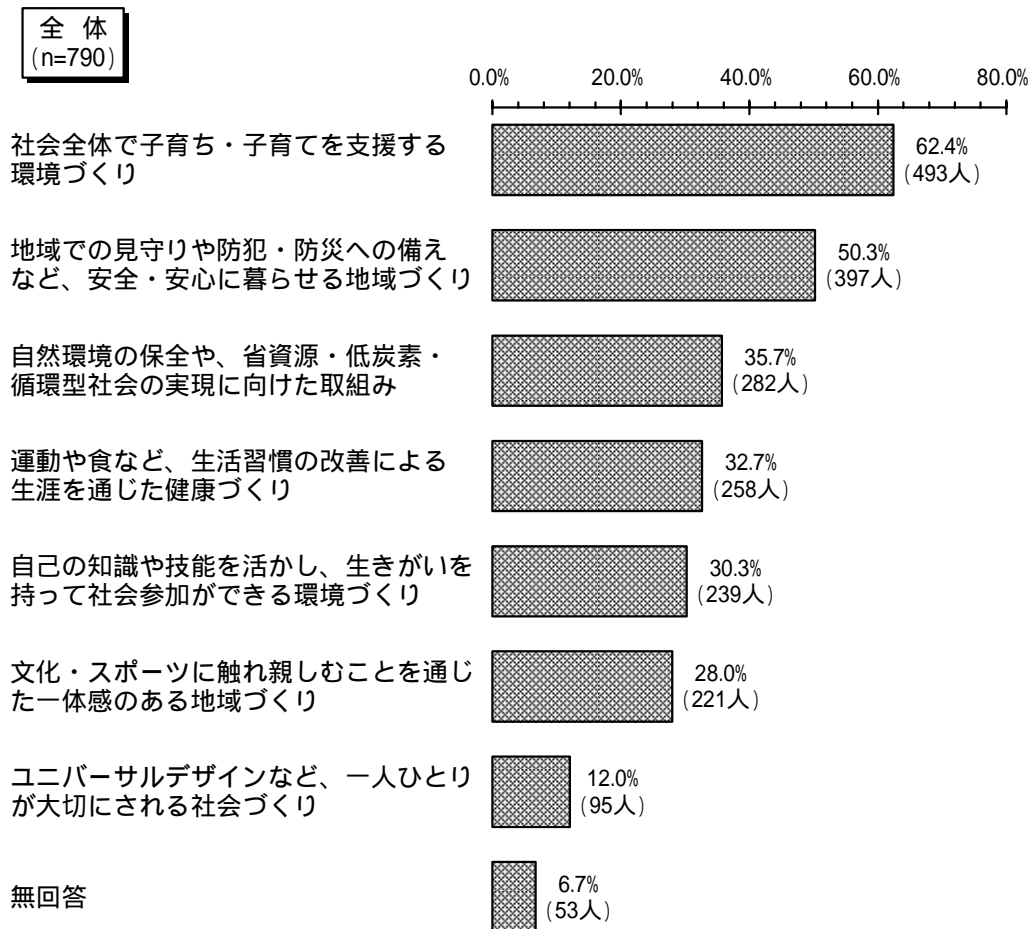
「はい」と「どちらかと言えば「はい」」を合わせた『はい』計の割合をみると、あなたの住む福島県は、自然環境の豊かな県であると思いますか(84.8%)が最も高く8割を超え、次いであなたは、日頃、省エネルギーや地球温暖化防止を意識した取り組みを行っていますか(57.0%)が6割弱となっている。

一方、「いいえ」と「どちらかと言えば「いいえ」」を合わせた『いいえ』計の割合は、あなたは、普段の生活の中で、孤立感や孤独感を感じることはありますか(53.8%)が5割を超えて高く、あなたは、日頃、省エネルギーや地球温暖化防止を意識した取り組みを行っていますか(18.1%)が2割弱となっている。

## (5) 県民運動として取り組むテーマ

問29 県民運動として取り組むテーマと地域コミュニティへの支援策について  
 又)新しい総合計画で目指す、本県の礎である「人」と「地域」が輝き、  
 いきいきとして活力に満ち、安全と安心に支えられ、人にも自然にも思い  
 やりにあふれた「ふくしま」の実現に向けて、広く県民全員が参加・連携  
 して「県民運動」として取り組んでいくテーマは、どのようなものがふさ  
 わしいと思いますか。

あてはまると思うもの3つまで をつけてください。

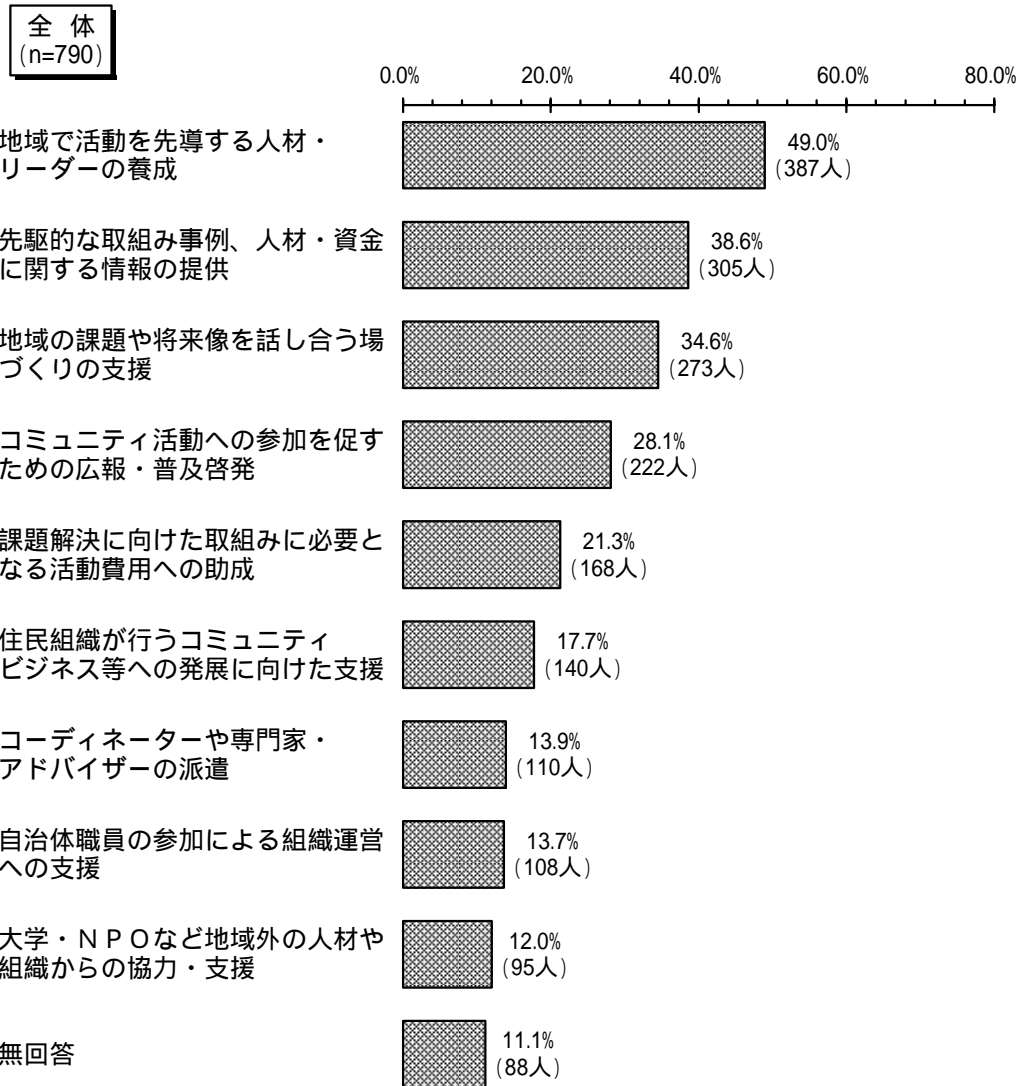


「県民運動」として取り組んでいくテーマは、「社会全体で子育て・子育てを支援する環境づくり」(62.4%)をあげる人が最も多く、6割を超えた。

以下、「地域での見守りや防犯・防災への備えなど、安全・安心に暮らせる地域づくり」(50.3%)が5割、「自然環境の保全や、省資源・低炭素・循環型社会の実現に向けた取組み」(35.7%)、「運動や食など、生活習慣の改善による生涯を通じた健康づくり」(32.7%)、「自己の知識や技能を活かし、生きがいを持って社会参加ができる環境づくり」(30.3%)が3割台、「文化・スポーツに触れ親しむことを通じた一体感のある地域づくり」(28.0%)が2割台、「ユニバーサルデザインなど、一人ひとりが大切にされる社会づくり」(12.0%)が1割台となっている。

## (6) 地域コミュニティへ必要な支援策

問29 県民運動として取り組むテーマと地域コミュニティへの支援策について  
 ネ) 地域コミュニティの維持・再生・活性化のために、住民が主体となり、  
 地域課題の解決のための取組みを進める際に、どのような支援が必要と考  
 えますか。  
 あてはまると思うもの3つまで をつけてください。



地域コミュニティへ必要な支援策は、「地域で活動を先導する人材・リーダーの養成」(49.0%)が最も多く、5割弱の人がこれを回答した。

以下、「先駆的な取組み事例、人材・資金に関する情報の提供」(38.6%)と「地域の課題や将来像を話し合う場づくりの支援」(34.6%)が3割台、「コミュニティ活動への参加を促すための広報・普及啓発」(28.1%)と「課題解決に向けた取組みに必要な活動費用への助成」(21.3%)が2割台、「住民組織が行うコミュニティビジネス等への発展に向けた支援」(17.7%)、「コーディネーターや専門家・アドバイザーの派遣」(13.9%)、「自治体職員の参加による組織運営への支援」(13.7%)が1割台となっている。